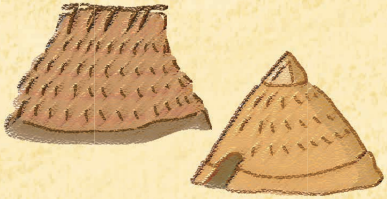
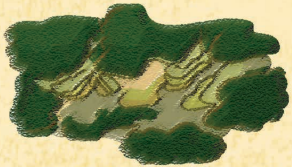
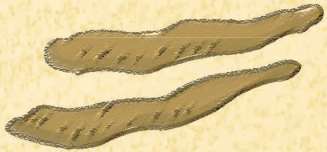
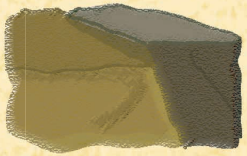
平成30年度文化庁文化芸術振興費補助金（歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業）

ぶらり歴史めぐり 淡路市





淡路島の玄関都市　淡路市

～豊かな自然と歴史文化が調和するまち～

淡路市は、明石海峡大橋から訪れる人々を迎える淡路島の玄関都市です。

瀬戸内海最大の島である淡路島の北部に位置しており、東は大阪湾、西は播磨灘に面し、市の中央には妙見山（標高522m）を最高峰とする山地が南北に走っています。

この海に囲まれた環境のなかで先人たちは、島特有の歴史文化を築いてきました。有形・無形の指定文化財だけでなく、地域にさまざまな歴史文化遺産を遺し、それらは現代へと継承されてきました。

日本遺産
認定
(平成28年4月)

『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」

～古代国家を支えた海人（あま）の営み～

日本で最古の歴史書「古事記」の冒頭を飾るのが国生み神話であり、その中で最初に生まれる特別な島として記されているのが淡路島です。淡路島の古代国家を支えた海人（あま）と呼ばれた海の民の営みをタイトルとするストーリーが、淡路島に点在する31の文化財とともに日本遺産に認定されました。

31の構成文化財のうち淡路市に所在する文化財は次の11です。

AWAJISHIMA JAPAN HERITAGE

JAPAN HERITAGE
日本遺産

1. 五斗長垣内遺跡と出土品
※2. 塩壺西遺跡
※3. 舟木遺跡
※4. 石の寝屋古墳群
※5. 畑田遺跡の棒状石製品
6. 貴船神社遺跡
※7. 引野遺跡
8. 伊弉諾神宮
9. 御井の清水
10. 明石海峡と松帆の浦
11. 絵島

（位置についてはP14マップに掲載。※は見学不可）

MAP 1 国指定史跡 五斗長垣内遺跡（ごっさかいと）

海を見下ろす丘陵上にあった鉄器づくりのムラ

五斗長垣内遺跡は、弥生時代後期（1800～1900年前）の鉄器づくりを行ったムラで、平成24年９月19日に国史跡に指定されました。

23棟発見された竪穴建物跡のうち、12棟が鍛冶工房建物であることがわかりました。鉄がとても大切だった弥生時代に、鉄器づくりが同じ場所で100年以上も続いていた遺跡は全国でも数少なく、鉄器の時代に移り変わる社会の様子を知ることができるとても貴重な遺跡です。

五斗長のシンボル

ごっさ鉄器工房(左)

直径10.5m、柱の数は10本の大型建物。少なくとも３回の建て替えが行われていたことがわかっており、建物は建て直すごとに大きくなっていったようです。

鉄器工房は一番大きな建物と同じ大きさに復元したもので、中では鍛冶体験が行われています。

鍛冶工房建物(右)

直径8.5m、柱の数は７本の円形竪穴建物で、発見された場所の真上に復元。　建物の中央に円形の穴が掘られており、その周りに鍛冶作業を行った炉跡が４か所確認されています。

発見された多くの遺構･遺物

鍛冶炉

工房跡の地面には、高い熱を受けて赤く変色している炉跡が発見されています。送風によって高温に達した部分は、さらに固く焼け締まっている様子が観察できます。

石の道具

鍛冶作業に使われた台石や敲石(たたきいし)、砥石(といし)など石の道具がたくさん見つかっています。

鉄器

100点を超える鉄器が見つかりました。矢じりなどの道具のほか、鉄器を作るときにできる小さな切れ端が多く発見されています。

板状鉄斧(てっぷ)

朝鮮半島製の斧(全長17.8cm)が発見されました。さびや土をきれいに取り除いてもとの形が分かりました。

左：発見時（さびに覆われて出土）
右：クリーニング作業後

広大な史跡公園に

人々が集い・学び・古代を感じる

五斗長垣内遺跡は、人づくりの学び舎、地域づくりのシンボル、交流の舞台として、地域をはじめ研究機関や教育機関等との多様な連携により、様々な事業やイベントを実施しています。広大な史跡公園は、人々が集い・学び・古代を感じることができる場所として多くの人々が訪れています。

古代技術を体験

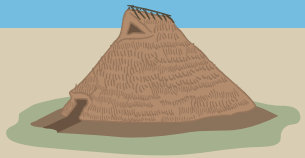
ごっさ鉄器工房では、およそ1,800年前の五斗長の人々が行っていた弥生鍛冶体験を行っています。その他、古代技術の一つである組紐体験や火おこし体験も行っており、日本の「ものづくり」の原点に触れることができます。

ボランティア養成講座

遺跡の案内や体験活動等をサポートするボランティアの養成講座を開催しています。弥生時代の暮らしや古代技術を体験しながら学んでいます。遺跡の魅力と地域の歴史文化の魅力を伝えていく「人の輪」が広がっています。

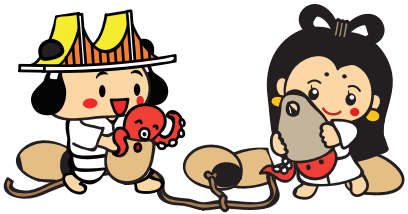
竪穴建物の復元作業に取り組む受講生

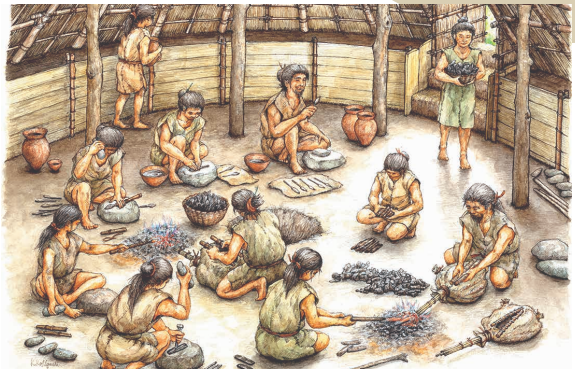
弥生時代の鉄器づくり



日本で鉄そのものを作り始めるのは古墳時代に入ってからであり、弥生時代の人びとは、朝鮮半島などから入手した鉄素材を熱し、叩き延ばして切断し、形を整えるなどして道具を作っていたと考えられています。

五斗長垣内遺跡内からイイダコ壺などの海に関わる遺物も発見されていることから、瀬戸内の海を介して淡路の海の民が鉄を島へ運んだものとみています。





当時の鍛冶作業イメージ画

国指定史跡 五斗長垣内遺跡

淡路市黒谷1395番地3

0799-70-4217（五斗長垣内遺跡活用拠点施設）

午前9時～午後5時　¥無料

㊡毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/28～1/3）

北淡ICから車で約10分

各地区のとりくみ

遺跡が地域のシンボル 五斗長地区

玉ねぎを広い集める人々

五斗長まちづくり協議会と淡路市は、5月3日（ごっさのひ）に五斗長玉ねぎまつり、秋には五斗長垣内遺跡まつりを開催しています。イベントでは、鍛冶や勾玉づくり等の古代体験をはじめ、新鮮な地元野菜の販売、玉ねぎ運び競争など、広大な史跡公園内で様々な催しを行っています。

MAP 2 五斗長の恵みたっぷり！「カフェまるごキッチン」

五斗長垣内遺跡の活用拠点施設内にある「まるごキッチン」では、五斗長のおかあさんたちが作るランチが人気です。地元で育てた古代米を使ったご飯や季節ごとの旬の新鮮野菜がたっぷりです。

淡路市黒谷1395番地3
0799-70-4217
㊡土・日曜日 午前11時～午後４時

まるご玉ねぎの復活

淡路島の玉ねぎの美味しさは全国的に知られていますが、五斗長産の玉ねぎは「まるご」の愛称で親しまれてきました。約20年前に活動停止したまるご出荷組合に代わり、地域で農業を持続していこうと㈱五斗長営農を設立し、㊄マークを復活させました。淡路瓦葺きの玉葱小屋で伝統的な方法で乾燥されています。

各地区のとりくみ

戦国武将細川氏の居城
備中館跡をめぐる

生田地区

生田地区には、細川備中守尚輝の居城と伝わる備中館址があり、今も備中井戸が残っています。生田地域活性協議会では、生田文化遺産めぐりツアーや生田村民俗芸能まつりを開催。五斗長垣内遺跡や東山寺で行われるイベントと同日開催し、近隣地域が連携することで、より多くの方に歴史文化に親しんでもらう機会としています。

中山間地域で育てた「そば」で地域づくり

生田村そば花まつり／生田村民俗芸能まつり

そばカフェ生田村で同時開催。そばの振る舞いや地域の伝統文化を体験してもらっています。

地域に伝わる草履づくり

生田文化遺産めぐりツアー

生田村探訪マップを用いて、備中館跡を中心に、美しい棚田景観やため池、地域の社寺等をめぐります。

☎0799-70-1478（生田地域活性協議会）

MAP 3 そばカフェ生田村

廃園になった保育園をリニューアルしてオープン。「挽きたて・打ちたて・湯がきたて」地元の畑で採れたそば粉で作るこだわりのそばが味わえます。

🏠淡路市生田畑152番地
☎0799-70-1478
🕐土・日曜日、祝日 午前11時～午後３時
🚗北淡ICから車で約10分

各地区のとりくみ

長沢地区

色鮮やかなもみじに彩られる 東山寺

国指定重要文化財
木造薬師如来立像

長沢地区には、国指定重要文化財である木造薬師如来立像および木造十二神将立像等を所有する東山寺があります。東山寺は、色鮮やかなもみじが素晴らしく、その美しさから淡路島百景に選ばれています。毎年、紅葉の季節には「紅葉狩り」が開催され、期間中は夜のライトアップが行われます。

淡路島百景

生活の中で守り育てていきたい、淡路島らしいと感じる100の景観で、兵庫県淡路県民局が一般投票を行い、その結果をもとに選定しました。

MAP 4

東山寺

寺伝によると、弘仁10年(819)弘法大師により創建と伝えられています。淡路島で唯一の尼寺で、国指定文化財のほかに、本堂をはじめ仁王門など6つの淡路市指定文化財を所有しています。

淡路市長沢1389番地
0799-64-1185
北淡ICから車で約20分

特産「自然薯」で地域づくり

MAP 5

自然薯食堂

長沢元気村協議会が運営する自然薯食堂では、淡路島でも珍しい自然薯を使った「とろろ汁ご飯」が味わえます。

淡路市長沢620番地2(旧長沢保育園)
090-4495-3288
1月～3月の毎月第4日曜日
午前11時～午後2時
北淡ICから車で約20分

3地区連携
とりくみ

淡路島竹灯籠

晩秋から初冬のあかり
やわらかな光が山間をつつむ

地域再生に取り組む地域が連携し、地域資源の竹を活かした竹灯籠で幻想的な空間を作り出しています。五斗長・生田・長沢地区では、11月中旬から下旬にかけて、各地区順々にリレー開催しています。

長沢地区

もみじを照らす竹灯籠
場所：東山寺（淡路市長沢1389番地）

五斗長地区

竹灯籠で浮かび上がる 弥生時代の鍛冶遺跡
場所：五斗長垣内遺跡（淡路市黒谷1395番地3）

生田地区

戦国をしのぶ 備中館跡のあかり
場所：そばカフェ生田村周辺（淡路市生田畑152番地）

〇平成30年度淡路地域　地域づくり活動応援事業〔こころ豊かな美しい淡路推進会議〕

MAP 6 舟木遺跡

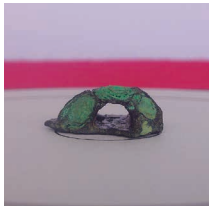
弥生時代の先端文化を伝えた 大規模な山間地集落

舟木遺跡は南北約800m、東西約500mにも及ぶ広大な面積の鉄器生産に関わる遺跡です。多数の鉄器や鍛冶工房とみられる大型竪穴建物跡が発見されているほか、中国鏡片などの青銅器片が発見されていることなどから、弥生時代後期の山上の遺跡群の中で中心的な役割を担ったムラであったと考えられます。

右：大型建物跡
左：漁具の鉄製ヤス

先進技術と文化を伝えた海の民

山上にありながら、海の生産用具が多数出土しており、海との関わりの深い人々が存在していたことを物語っています。鉄器生産技術や中国鏡などは、これらの人々の力が大きく関与したものと考えられています。



青銅鏡

青銅鏡の「鈕（ちゅう）」の部分が出土。その成分から中国南部産材料を利用して作られた後漢鏡の一部であると考えられます。舟木遺跡には、当時、海を渡ってもたらされた希少な中国鏡を手に入れることができた人物が存在していたのです。

歴史めぐり

国指定天然記念物

野島断層

阪神・淡路大震災の教訓を 後世に伝える

平成７年１月17日午前5時46分に発生した兵庫県南部地震はM7.3、最大震度7を記録し、多くの尊い生命を奪いました。未曽有の被害をもたらした地震災害は、阪神・淡路大震災と名付けられました。

この地震は活断層である野島断層が動いたことによるとされ、北淡震災記念公園・野島断層保存館では、地震により地表に現れた野島断層のうち約150mを当時のままの姿で保存・展示し、地震のエネルギーの大きさと自然の脅威を伝えています。震災の記憶・教訓を後世へ伝え、今後起こりうる自然災害について学び備える場としています。

MAP 7

北淡震災記念公園 野島断層保存館

- 淡路市小倉177番地
- 北淡震災記念公園（0799-82-3020）
- 午前9時～午後5時
- 休 1月～11月は無休（12月下旬臨時休館あり）
- 北淡ICから車で約10分

野島断層

学術的に貴重な資料として平成10年７月31日に国の天然記念物に指定されました。

震災体験館

兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震の揺れの違いを体感することができます。

メモリアルハウス

地震断層が横切る民家を保存し、震災当時の建物の様子を公開しています。

震災の語りべ

震災を風化させないため、自らの体験を未来に活かせるように語り伝えています。

グラグラボ

地震の仕組みや液状化実験、津波のシュミレーション映像など、いろいろな角度から地震について学べます。

神戸の壁

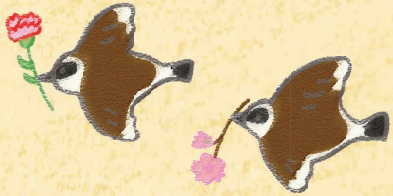
神戸大空襲に耐え、阪神・淡路大震災に耐えた神戸の壁は、野島断層と共に震災を語り継ぎます。

ぶらり歴史めぐり

淡路市マップ

日本遺産10
明石海峡大橋
徳島藩松帆台場跡
道の駅あわじ
江埼灯台
N
日本遺産3
MAP 6 舟木遺跡
日本遺産4
日本遺産11
淡路IC
日本遺産2
日本遺産6
兵庫県立淡路島公園
MAP 7 北淡震災記念公園 野島断層保存館
日本遺産5
あわじ花さじき
淡路島国営明石海峡公園
淡路市立北淡歴史民俗資料館
東浦IC
MAP 3 そばカフェ生田村
道の駅東浦ターミナルパーク
淡路市立陶芸館
淡路市立中浜稲猫美術館
神戸淡路鳴門自動車道
北淡IC
日本遺産7
MAP 4 東山寺
MAP 1 五斗長垣内遺跡
日本遺産1
パルシェ香りの館
MAP 2 まるごキッチン
日本遺産8
伊弉諾神宮
日本遺産9
MAP 5 自然薯食堂
淡路市立香りの公園
兵庫県立淡路佐野運動公園
津名一宮IC
淡路ワールドパークONOKORO

※この冊子内の情報は2019年３月現在のものです。
施設などの情報は変更される場合がありますのでご了承ください。



制作・発行

淡路市歴史文化基本構想を活用した
観光拠点づくり協議会
（淡路市教育委員会教育部社会教育課）

兵庫県淡路市生穂新島８番地
☎0799-64-2520　FAX0799-64-2566
https://www.city.awaji.lg.jp